

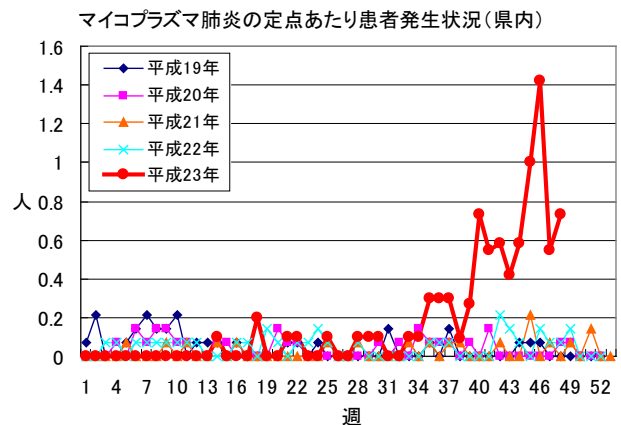
全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

マイコプラズマ肺炎

定点あたり患者数は今週 **0.73人**(先週は0.55人)と増加し、依然例年に比べて患者数の多い状態が続いています。全国的にも患者数が多く、注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は肺炎マイコプラズマを病原体とする呼吸器感染症で、感染患者からの飛沫感染や接触感染により伝播するといわれています。特異的な予防方法はありませんが、流行期には手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚接触をさけることが重要です。



インフルエンザ

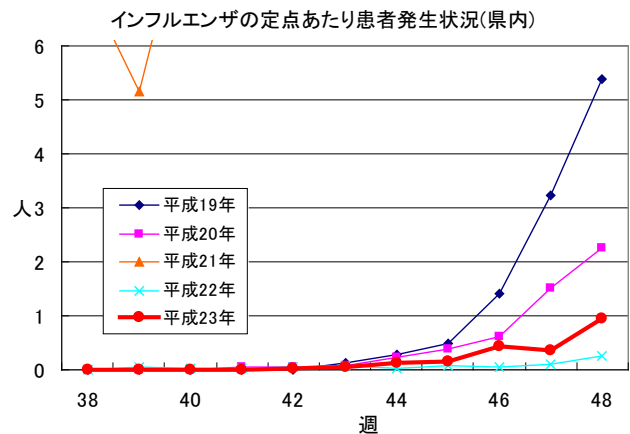
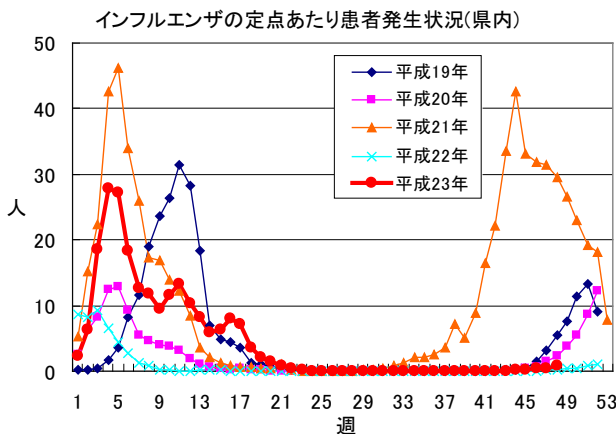
インフルエンザの定点あたり患者数は今週 **0.94人**(先週0.36人)と増加し、流行開始の目安とされる定点あたり1人に近接しました。

地域的にみると、神戸市と宝塚保健所管内が定点あたり1人以上となっています。

インフルエンザによる学校臨時休業情報では、神戸市内の幼稚園4園と小学校4校、宝塚市内の小学校1校で、学級閉鎖が報告されています。

当研究所では今シーズン、洲本保健所管内及び加古川保健所管内の患者12名の検体から11件のAH3亜型(A香港型)インフルエンザウイルスを検出しています。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。



(左のグラフを部分的に拡大しています)

定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	7.64	5.00	+2.64	5位	手足口病	0.84	1.17	-0.33
2位	水痘	1.90	1.79	+0.11	7位	マイコプラズマ肺炎	0.73	0.55	+0.18
3位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.30	0.98	+0.32	8位	流行性耳下腺炎	0.71	0.66	+0.05
4位	インフルエンザ	0.94	0.36	+0.58	9位	突発性発しん	0.59	0.47	+0.12
5位	RSウイルス感染症	0.84	0.69	+0.15	10位	伝染性紅斑	0.40	0.34	+0.06

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 24名 （神戸市9名、尼崎市4名、姫路市2名、西宮市2名、伊丹保健所管内1名、明石保健所管内1名、加東保健所管内1名、龍野保健所管内1名、丹波保健所管内2名、洲本保健所管内1名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2名 （有症者0名、うちHUS0名） （神戸市；O157 VT2+ 男性9歳、尼崎市；O157 VT1+ VT2+ 女性30歳代） （累積報告数116名；有症者93名、うちHUS3名）
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病 1名 （神戸市；古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）女性80歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）、 梅毒 1名 （神戸市；無症候（無症状病原体保有者）女性60歳代 感染地域；国内、感染経路；不明）、 麻しん 1名 （神戸市；麻しん（検査診断例）女性11ヶ月 感染地域；国内、感染経路；不明、ワクチン接種歴；無し）
追加報告	結核 9名 （尼崎市1名、加古川保健所管内7名、赤穂保健所管内1名）、 ウイルス性肝炎 1名 （西宮市；B型 男性30歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）、 後天性免疫不全症候群 2名 （無症候性キャリア）（感染地域；国内1名、不明1名）（感染経路；同性間性的接触1名、不明1名）、 梅毒 2名 （神戸市；無症候（無症状病原体保有者）男性50歳代 感染地域；国外、感染経路；異性間性的接触、尼崎市；無症候（無症状病原体保有者）女性60歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）、 破傷風 1名 （神戸市；男性80歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；創傷感染）

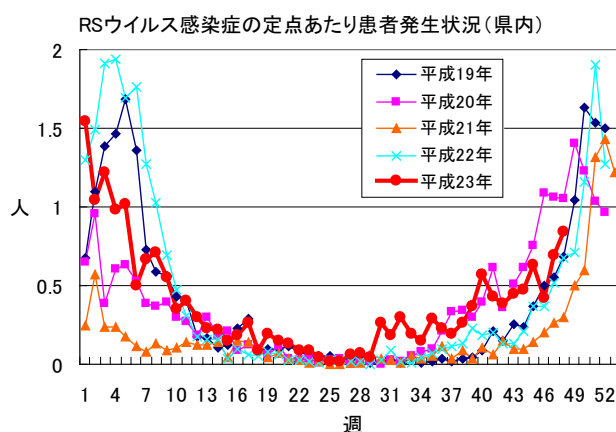
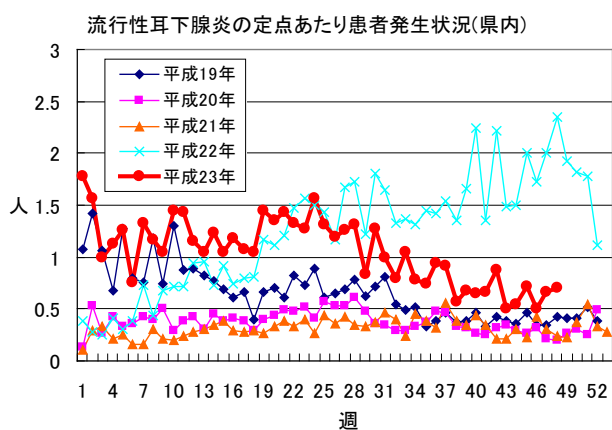
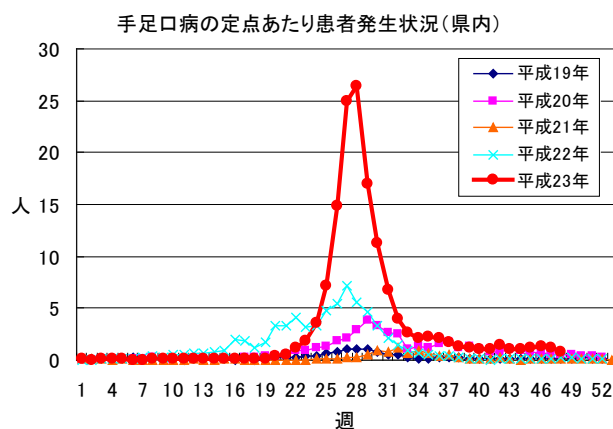
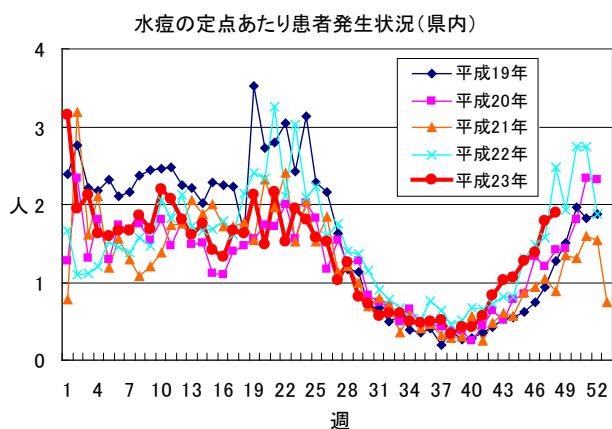
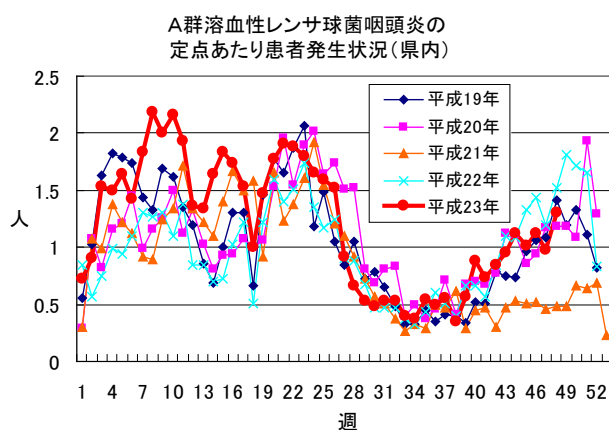
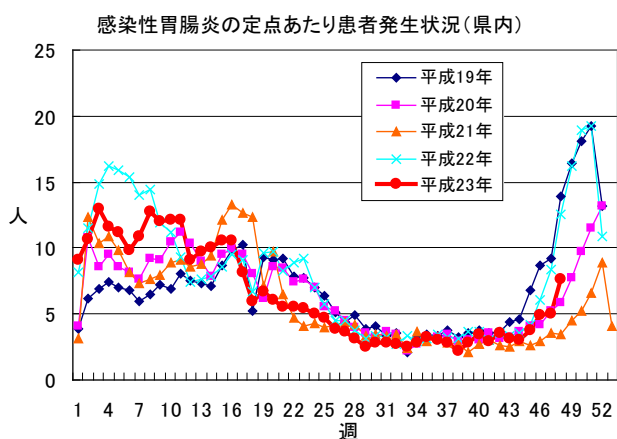
検査情報（兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センター）

龍野保健所管内の医療機関で9～10月に採取された検体の病原体検査情報です。

手足口病患者2名（5歳、12歳）から**コクサッキーウイルスA16型**が、これとは別の手足口病患者1名（1歳）から**コクサッキーウイルスA10型**が、それぞれ検出されました。

ヘルパンギーナ患者1名（3歳）から**コクサッキーウイルスA10型**が検出されました。

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。